

検証項目

1. 予防接種等の実態（時間軸での変遷 ※昭和23年から昭和63年までについて検証）

- ① 予防接種対象疾患の流行等の実態
- ② 予防接種制度（副反応情報収集、健康被害救済を含む）
- ③ 予防接種に使用する器具等の開発・普及状況
- ④ 予防接種の具体的接種実態（器具使用実態、消毒方法等）

2. 日本におけるB型肝炎ウイルスの感染及び感染被害拡大の実態（時間軸での変遷）

- ① B型肝炎ウイルス感染及び感染拡大の実態
 - ・ B型肝炎ウイルス感染者の肉体的、精神的及び経済的負担、さらに社会的差別偏見に関する実態
 - ・ B型肝炎ウイルスの感染実態

3. B型肝炎に関する医学的知見およびそれに対する関係機関等の認識について（時間軸での変遷）

関係機関等とは、国（国立感染症研究所を含む）、自治体、関係学会、予防接種従事者、医療関係者等をいう。

- ① B型肝炎の病態等に関する医学的知見及びそれに対する関係機関等の認識
- ② B型肝炎ウイルスの感染経路等に関する医学的知見及びそれに対する関係機関等の認識
- ③ 集団予防接種等によるB型肝炎ウイルス感染リスクに対する関係機関等の認識

4. 集団予防接種等によるB型肝炎感染被害発生の把握及び対応（時間軸での変遷）

- ① 関係学会、医療関係者による把握及び対応
- ② 自治体及び予防接種従事者による把握及び対応
- ③ 国（国立感染症研究所を含む）による把握及び対応
- ④ 関係機関間の情報共有等の連携の実態

5. 諸外国における予防接種制度及び予防接種に伴う感染防止対策の実態（時間軸での変遷）

- ① 諸外国の予防接種制度（副反応情報収集、健康被害救済を含む）
- ② 諸外国における予防接種に伴う感染防止対策の実施状況

6. 再発防止策の策定に向けた検討

検証の結果をふまえ、再発防止のためにシステムとしてどのような施策が提言できるかという視点から、今後の予防接種行政に向けた提言を行う。